

## 神戸市政調査会 第10回の議論について

## 議論のテーマ

「これからの時代の課題解決に取り組む」市民自治のあり方について

## 第9回の議論

第6次神戸市基本計画策定時のワークショップの成果を踏まえ、対話の場をいかに設計し継続させるかが議論された。歴史や教育、企業研修、オンライン、日常空間などを入口として多様な主体の参加を促す視点が示されるとともに、目的を前面に出し過ぎない「場」づくり、分断を生まない合意形成、行政支援のあり方、無償奉仕を前提としてきた地域活動の構造的課題について意見が交わされた。

## 第10回の議論のポイント

公園という具体的な「場」の事例から、参加の入口、継続を支える担い手、行政の関与のあり方、リアルとデジタルの補完関係などの条件をどのように読み解くことができるか。また、その整理を今後の場づくりに共通する論点として、他の場へどのように展開していくことができるか。